



樹妙だより

No.178 2019/12



体育祭での選手宣誓

慈 悲 喜 捨

テレビ番組の「笑点」はとても人気があります。落語家が、お題ごとオチを披露する大喜利の親しみやすさが受けているようです。

落語は、江戸時代の町民の間から生まれ、噺（はなし）には、毎日の生活を一所懸命に生きる人々の知恵が笑いとともに語られています。

落語には、上方（京都・大阪などの近畿地方）落語と東京落語があります。上方落語は、通りすがりの人々を相手にしていたので、小道具や鳴り物を使い、言葉に愛嬌があって、サービス精神も旺盛です。一方、東京落語は、屋内で少人数を相手にオチのある噺（はなし）をするので、簡潔でさらっと噺すことが大切とされています。

落語の起源を調べると、上方では「露の五郎兵衛（つゆのごろべえ）」という人が道端や神社の境内などで自作の噺を披露し、江戸では「鹿野武左衛門〔しかのぶざえもん〕」が、屋敷に招かれてお座敷芸として噺を披露していたということで、この人たちが、落語

の始まりといわれています。そして、江戸時代の終わりになると、一定の場所でお金を取って多くのお客さんに噺す「寄席」が始まり、次第に庶民の気軽な娯楽として人気を集めていったということです。

落語は台詞（せりふ）で物語を展開し、扇子や手拭（てぬぐい）を使っていろいろなものを表現します。上半身と台詞だけで語り、人物の関係などを目線やしぐさで表現するので、落語家には話術や表現力が必要です。上方落語は聞き手とのコミュニケーションを、東京落語は粋（いき）を大切にした日本文化の一つになっています。

さて、令和の年が始まってから、早くも師走の月となりました。一年を無事に締め括（くく）り、新たな年を有意義なものとするため、一人ひとりが令和元年がどのような年であったかを振り返り、よかったこと、更に努力を必要とすることなどについて自覚を深めましょう。そして、「笑う門には福来たる」の例（たとえ）のように、年の瀬を笑顔で過ごして、よい年を迎えましょう。

教頭 金安伸一



樹徳中学校・高等学校長
野口秀樹

今年もあとひと月となりました。光陰矢の如しと申しますが、この言葉の通り私の時間はドンドン早くなってまいります。子どもの

頃の1日の長さがとても懐かしく思い出されます。

皆さんはどんな素敵な1年を過ごしましたか。きっと充実した毎日だったと思います。何でもないと思える毎日が私の人生を作っていく、輝く未来に繋がっていく、この大事な事を忘れたくないと思っています。

今年は自然災害の多い年でありました。直近では10月に襲ってきた台風19号、関東地方にも大きな影響を残しました。群馬県内も、北毛地区ではJRの一部の区間がいまだに影響を受けているようであります。

桐生市に隣接する栃木県足利市、こちらも川の氾濫で大きな被害を受けました。この状況を知った本校生徒22名と先生5名が直ちに足利市の災害ボランティアに参加したのです。

各所で人手が不足し、復旧作業がなかなか進まない中でのボランティア、生徒達はお役に立てたようです。後日足利市の方から丁寧なお礼のご挨拶を頂戴しました。

礼状と言え、2011年3月11日のあの忘れられない東日本大震災の時も、生徒の活躍で何通もの礼状を戴きました。本校は1年かけて、延べ人数1,000人の生徒と職員が泥かきボランティアに参加したのです。日本でも最も早く行動を起こした、しかも長期間続けた高等学校でありました。

バス代が2,000円、弁当、マスク、ビニール手袋、長靴、ゴーグル、水筒など全て生徒達も個人持ちでありました。私も参加しましたが、現地の悲惨さには声も出ませんでした。そればかりか原発問題も抱えておりましたので、保護者の理解がなければ行えませんでした。今振り返っても、生徒の選択、保護者の選択、奨励した学校の選択、どれも正しかったように思われます。

もう皆さんも忘れてしまったかも知れませんが、地震当日の1年男子生徒のとした行動について、高崎の老婦人から戴いた手紙の

話をしようと思います。

ご夫妻でJR両毛線に乗り高崎へ帰る途中に地震にあってしまいました。

それは小俣駅を過ぎたくらいの所、歩いてなんとか桐生駅まで到着することができましたが、桐生駅も混乱の真っ直中、皆列車が動いて自分の行き先へ行けるかどうか必死でありました。

この状況の中では仕方がないことですが、他者への思いやりを持つ余裕が誰にも持てなかった。同行していたご主人は85才、最近心臓の手術を終えたばかり、歩行も充分ではない状況でした。

困り果てている老夫婦を見かねた駅職員が特別にイスを用意してくれたそうです。

日が沈むと急激に寒くなり、不安でご主人の身体を心配していた時、近くにいた男子高校生が自分の制服の上着を脱いで、ご主人にかけてくれたそうです。その瞬間、皆の緊張感が和らいだのか、温かい空気が流れてきたようで、その場の雰囲気が急に変わったそうです。

そして皆が「おばあちゃん良かったね、良かったね」と言葉をかけてくれた。若い女性に「どちらの高校生かしら」と声をかけると、「おあばちゃん、上着の裏に名前が書いてあるのではないですか」と。樹徳高等学校の1年生と名前が判明した。

この高校生の行動から老夫婦へのいたわりが始まり、最終的には迎えに来た何処かの方が、高崎まで車で送ってくれて11時に帰ることができたそうです。

手紙の女性とはとにかく嬉しかったのだそうです。声を出して誰かに助けを叫びたいそんな思いであったけれど、周りの人達もそれぞれの予定が果たせずイライラしていた。怒りを駅員にぶつける人さえいた。このままだと私達夫婦はどうなってしまふのだろう。おじいさんはどうなってしまふのだろと不安が重くのしかかったとき、高校生の行動があったのでした。

丁寧で美しい文字と感謝と喜びの言葉が綴られおりました。この生徒のお陰で学校までおほめを戴いたのです。

『樹妙』の言葉にもあります。「やさしいたった一言・・・あんなに喜んでくれるのか」生徒達から学ばされることも沢山あるので
合掌

相田みつを展 アンケート結果

樹徳高等学校が、故・相田みつを氏に依頼したオリジナル作品「こころの暦」の本書展初公開を11月2日～3日「共生図書館」において開催いたしました。

たくさんのご来館ありがとうございました。未発表作品35点の下書き作品の中から「もしも1ヵ月が31日より多かったら～」あなたは32日目にどれを選びますか？と32日目の候補を選んで投票していただきました。

※ 335名の方々から回答をいただきました。

第1位 (33票)

しあわせは
いつも自分の心がきめるものです

第2位 (28票)

いまが最も大事です

第3位 (25票)

今日のいのちをたいせつに

第4位 (24票)

中途はんぱが最もいけない

第5位 (22票)

いのち尊し

第5位 (22票)

苦しい時だってあるさ人間なもの

ご協力ありがとうございました。発表をもってお礼とさせていただきます。

◆合唱コンクール

10月25日(金)、力誉記念館講堂において、第33回合唱コンクールが行われました。

コンクール当日、ステージから届く美しいハーモニーの中には、それぞれのクラスが指揮・伴奏・歌唱にどう取り組んできたか、その努力の過程が個性となって表現されていました。

結果は次の通りです。

金賞	1年K 1組
銀賞	4年 2組
銅賞	1年S 2組

◆審査員特別賞(個人)

1年S 1組	久保田	翔太
1年J 1組	武井	奏良

「生徒の感想」

- ・いつも読んでいて習慣になっていた「樹妙」の原点が相田みつをさんであることを初めて知り、更にその未公開部分を観ることができてよかったです
- ・みつをさんの筆跡やその作品に込めた思いが伝わってきました
- ・一つ一つにその人の大事な経験が伝わってきた
- ・心に響く言葉がいくつも見つかりました
- ・普段何気なく唱和している「樹妙」も一つ一つに相田みつをさんの思いが込められているということを感じました
- ・言葉に魂が入っていた
- ・前向きな言葉に元気をもらえた
- ・この中で31個の日めくりカレンダーを作って欲しい
- ・心にぐっときた
- ・心に刻んで生きていきたい

「一般の参観者の感想」(抜粋)

- ・情があふれたよい詩に感動しました。
- ・樹徳高等学校と相田さんの出会いに感動しました。会場の共生図書館は何度来ても素敵です。
- ・心が洗われ、また頑張ろうという気持ちになりました。
- ・高校時代にこのような言葉に出会えた生徒達は幸せだと思いました。
- ・今日このときの気持ちを続けていきたい。
- ・身近に観られてよかった。



金賞の1年K 1組
表彰の様子

十二月の法語

今日の人の身

明日の我が身

人 体育祭特集 人

全学年が男女共学後、初めての体育祭。

前日の予行では天候が危ぶまれましたが、体育祭当日は快晴。

澄みきった秋空に生徒たちの歓声が響く、よき体育祭となりました。

各クラスの熱戦ぶりを写真にてお伝えします。



1

2

3

4

5

6

7

8

以和為貴リレー
男同士のアツイ絆！



長距離走
一位でゴールするのはこの俺だ！



スタートダッシュで前へ！
以和為貴リレー



託される気持ちの入ったバトン！
クラス対抗リレー



ぼんぼ
人間鞍馬リレー
パワーとバランスの妙！



何事も笑顔で乗り切る！
以和為貴リレー



体育祭 結果

優勝
3年J 2組
準優勝
2年SS・K2組
第三位
3年J 7組



大縄跳び
回し手と跳び手の一体感が試される！

入場行進結果

最優秀
3年J 2組
優秀
1年J 3組

一貫校 中学校 だより

◆知を獲得し、心を育てる 読書のすすめ

夏休みに電車の車内で見かけた光景です。

混んだ車内に、4年生くらいの男の子とお母さんが乗ってきました。その親子は、乗ると直ぐにカバンから本を取り出し、読み出しました。男の子が読んでいたのは、トルストイの「イワンの馬鹿」でした。読書に集中するこの二人の辺りには、静かで落ち着いた空気が漂っているように感じました。混み合っている雑然とした車内がさわやかに思えたひとときでした。

近年、子どもの活字離れや国語力の低下が指摘されていますが、読書は、教養を高め、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものだと思います。

樹徳で購読している「職場の教養」10月号（一般法人倫理研究所発行）の10/28（月）のテーマは「読書のすすめ」でした。その中に、世界で活躍する著名人、「いわゆる成功者の趣味は『読書』である」ということが紹介されていました。マイクロソフト社創業者のビル・ゲイツ氏は、毎晩、就寝前に1時間、フェイスブックの創設者であるマーク・ザッカーバーグ氏は2週間に1冊本を読むということが書かれていました。

現在は、スマートホンやタブレット型パソコンが普及し、書籍よりもビジュアルなものへと関心が移っています。そういう時代だからこそ、改めて読書の大切さを強調したいと思います。

読書は、知の獲得だけでなく、心を育てます。感性、情操、思いやりの心、未来への夢を読書によって育むことができます。よい本に出会い、さらに、感動を人と分かち合うことで、その感動がさらに増幅されます。出会った本から触発され、次々に新たなことを知りたくなります。知識欲がどんどん湧いてくるものです。

18世紀後半のイギリスの政治家エドマンド・バークは、「読書して考えないのは、食事をして消化しないのと同じである」という格言を遺しました。一昨年、共生図書館が完成し、立派な読書環境が整いました。生徒のみなさんには、読書欲を大切にして、たくさんの本読み、しっかりとした知と思考力を身につけて欲しいと願っています。

（副校長 澁谷）

◆元気が躍動した 体育祭



10月16日（水）秋晴れのもとで体育祭が行われました。5年ぶりの開催でしたが、凜とした姿勢で入場行進する生徒一人ひとりの姿から、素晴らしい体育祭になりそうな予感がありました。

生徒たちは、各競技に全力で取り組み、競技する選手と応援する生徒が一体となった素晴らしい体育祭となりました。クラス対抗の綱引きには、多くの保護者の方にご参加をいただきました。また、後援会企画の「逃走中」では、役員、教員によるサプライズもあり、グラウンドいっぱいに生徒たちの元気が躍動し、大いに盛り上がりました。

今年は、雨天順延で平日の開催となりましたが、保護者の皆様には、準備、当日の運営等、ご協力、ご支援をいただき大変感謝いたします。ありがとうございました。

◆心が一つになった 合唱コンクール

10月21日（月）、市民文化会館小ホールにて、校内合唱コンクールが開催されました。生徒たちは、1学期から本番に向けて、音楽の授業だけでなく、朝や昼、放課後の時間を使い、練習に励んできました。練習を重ねるごとにクラスの団結力も高まり、本番では、どのクラスもすばらしい合唱を披露することができました。

金賞 3年2組（下写真）

課題曲「君の隣にいたいから」

自由曲「ひとつの朝」

銀賞 3年1組

銅賞 2年1組

最優秀指揮者賞 1年1組 杉山立華

最優秀伴奏者賞 3年2組 加藤里咲

11月8日（金）に行われた桐生市音楽学習発表会には、3年生全員が参加し、素敵な歌声で、樹徳中の誇りを合唱で披露しました。



幼稚園だより

◆「令和元年・2学期の締めくくりの師走」

12月は令和元年、そして2学期の締めくくりの月です。運動会をはじめ行事をたくさん経験し、みんなで学んだり、協力し合ったり、励まし合ったりすることで、2歳児から年長さんまでが心身ともに大きく成長したことを実感しています。さらに、12月は運動会に次ぐ大イベント「なかよし発表会」の準備や、劇・合唱・合奏練習などを通して、子どもたちのやろうとする意欲を一層高め、確実な成長に結びつけていきたいと思います。

冬になると、どうしても戸外より室内での遊びの時間が多くなりがちです。しかし、冬こそ天気の良い日には、陽だまりの中で遊ぶ時間を確保してあげることが大切だと思っています。この季節だからこそその縄跳びや鬼ごっこ、押しくらまんじゅうなど、ほんの少しでも運動遊びの「場」を工夫することにより、子どもたちは協働して遊ぶことができます。また、霜柱を見つけて踏みしめたり、氷作りなどの遊びを楽しんだりすることもできます。冬こそ園庭の環境の多様性を大切に、子どもたちの多様な外遊びを応援するとともに、冬場の体力作りに結びつけていきたいと思っています。

◆「栽培を通して、食育の実践」

年長さんが畑に苗を植え、みんなで観察し育ててきたサツマイモを11月6日（火）に収穫し、1週間後の12日（火）に「焼き芋会」を全園児で行いました。園庭で丸太を燃やして火をおこし、その火の中に濡れた新聞紙にアルミホイルをしっかりと巻いたサツマイモを、各学年ごとに投げ入れました。40分後には焼きたてのお芋を「おいしい～おいしい!」とほおばりました。子どもたちは、苗植えから生長過程を観察し、さらに収穫して焼き芋にして食べるまでを体験する過程で、「いつ頃食べられるかな?、ちゃんとお日さまにあたっている?、どんな形をしているかな?」など、子どもたちからの言葉かけも聞かれました。食育とは「生きる力」を培うとも言われていますが、食べ物の大切さや「いのち」を思いやる「豊かな心」を育む行事として、これからも子どもたちと一緒に楽しく取り組んでいきたいと思っています。

◆2学期の締めくくりは「なかよし発表会」

子どもたちの2学期間の成長を見ていただく「なかよし発表会」が、来る12月14日（土）10時00分より、樹徳高校勢至ホールにて開催されます。11月中旬より各学年での練習が始まりました。遊びの中で使っている言葉を工夫して劇遊びに頑張るひよこ組（2歳）。月刊絵本から興味を持ったお話を子どもたちと一緒に考え、劇遊びにして頑張るすみれ組（満3歳）。歌や劇など初めて取り組む内容に、大きな声で頑張っているもも組（年少）。合奏などではお互いにつられてしまい苦戦続きでしたが、つられなくなり自信を持って取り組んでいるさくら組（年中）。幼稚園では最後の発表会となるたけ組（年長）は、真剣に意欲的な練習を通して、お互いを認め合いながら頑張っている様子です。子どもたちは、劇あそび・オペレッタ・歌（リトミック）・合奏等の練習を通して、一人ひとりが役を持って、そのものになりきって表現し、仲間と一緒に体を動かして楽しく取り組む中で、認め合い・協力し合い・喜び合うことの大切さを学びながら頑張っています。当日は、たくさんの人の前で緊張すると思いますが、しっかりと発表することの楽しさや勇気を身につけられるように、しっかり支援していきます。

ご家族はじめ、関係皆様のご来場を、教職員一同、お待ちしております。



サツマイモの収穫（年少）



焼き芋をほおぼる（年長）



ボール投げ教室（月1回）



イモを焼く炭火づくり

令和2年度一入園児募集一

令和2年度入園・転園を希望される方はお早めの申込みをお願いします。

募集人員 2歳児 10名

満3歳児 10名

3歳児 20名

年中・年長 若干名

◎12月6日（金）10時30分より、樹徳幼稚園において入園予定者の入園面接を予定しております。（12月6日以降も入園希望者の受付はいつでもできます）

連絡・問合せ

住所：桐生市広沢町三丁目4475

TEL：0277-53-5571

ホームページ <http://www.jutoku.ed.jp/>

12月(布施)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	日			
2	月	LHR 学年主任会 2年生振替休日(11/30)	中学校期末試験(～4日)三者面談(～5日) 二期入学試験願書受付(～6日)	
3	火			幼交連交通安全教室
4	水	マイトリー基金拠金日 献血① 県校長会	マイトリー基金拠金日	成道会・数珠くり(大善寺)
5	木	授業料納入日 献血②	授業料納入日	
6	金	後援会役員会③	保護者による生き方教室	入園面接(10:30～)
7	土	GTEC③		
8	日	成道会		
9	月	朝礼 教科主任会	頭髮服装指導	
10	火	日私中高連常任理事会		保育料納入日 読み聞かせ(西山先生)
11	水			
12	木	担任宛成績提出 関東高P連準備委員会 法人役員会		法人役員会
13	金	校内マラソン大会	校内マラソン大会	なかよし発表会予行練習 (樹徳高校勢至ホール)
14	土		第二期入学試験	なかよし発表会(樹徳高校勢至ホール)
15	日			
16	月	LHR(人権教育) 推薦・学奨入試願書受付(～17日)		なかよし発表会代休日・預かり保育
17	火	教務宛成績提出 出席統計提出 2学期出欠締切	ミニマナーアップ運動	ボール投げ教室
18	水	制服アフターサービス	制服アフターサービス	桐生市保・認ご事務連絡会議
19	木	学年別一斉指導 成績会議		特老「ふたば園」訪問(年中・年長)
20	金	終業式 大掃除 奨学生審査会②	終業式 大掃除	終業式 餅つき大会
21	土			冬休み(～1月7日)
22	日			
23	月	入試準備事務① 冬期特別課外授業開始	WSL(～26日) 実力養成特別補習(～26日)	預かり保育①
24	火	入試準備事務②		預かり保育②
25	水	入試準備事務③		預かり保育③
26	木	入試準備事務④		休園日 群私幼教職員冬季研修会
27	金	振替休日(1/11) 職員休暇	振替休日(1/11) 職員休暇	預かり保育④ 仕事納め
28	土			年度末特別休暇(～31日)
29	日			
30	月			
31	火			

※ 2日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です。



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

[Web] www.jutoku.ed.jp [Mail] office@po.jutoku.ed.jp

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく